

グリピカ活用をアピール

廃油をせっけん水に変え清掃

白崎コーポ

白崎コーポレーション(福井県鯖江市)は1955年の設立以来、「自



施工の様子

然と人の共生」をテーマに、防草緑化用資材の企画・販売といったグリーンアップ事業を皮切りに、再生トナーカートリッジの製造・販売を含むサプライビジネスなどを多岐に展開している。

同社では現在、昨今のHACCPにのっとった衛生管理の重要性の高まりに伴い、グリストラップのエコ清掃システム「石鹸化衛生工法 ユーグリカ」の活用を宿泊市場に呼びかけている。すでに、飲食店を皮切

りに、一部旅館・ホテルにおいても採用され、悪臭問題や衛生管理にかかるコストを抑制するなど効果を発揮しているという。グリピカは、グリストラップにたまった廃油をせっけん水に変えて清掃する。従来のグリストラップ清掃とは異なり、油分を乳化(油と水が混ざり合った状態)するのではなく、分解し完全なせっけんに変えて(鹸化)槽内を清掃し排水する点がポイント。「残ったゴミは油を除去しているため、産業廃棄物ではなく一般ごみとして処分できることから、人体にも環境にも優しい唯一無二の清掃システム」と同社。

グリピカの清掃の手順は①グリピカ口ポで廃液を吸引し、せっけん水にして槽内へ戻す②戻したせっけん水で槽内を清掃する③せっけん水を排水管へ流し、管内の油脂も除去する。さらに、「生成されたせっけん水は生分解性(自然に戻る力)が高いため、水中にあるカルシウム成分と結びついてカルシウム沈殿物を形成し、排水をきれいにする」と同社。

宿泊施設向けIoTソリューションを展開するトリプラはこのほど、マイステイズ・ホテル・マネジメント(東京都港区)が運営するホテル150施設に同社のサービスが導入されたと発表した。マイステイズはこれまで、顧客の問い合わせには自社のオペレーターが対応していたが、インバウンドの増加により幅広い言語に対応する人材確保が難しくなっていた。

最近では、有名な飲食チェーン店で提供する食事に害虫などが混入し、休業する事案も生じており、厨房排水に関する衛生維持管理について多くの相談を受けているという。この件についての問い合わせ先は白崎コーポレーション(0778)622200。

「旅館ホテル」のおもてなし。日本ホテルレストラン経営研究所 大谷 晃。サービスを超える極意。煙による影響が少なく、すべての室内、共用部分全性が最も高いのは屋外階段を確保します。火災階から難階段です。屋内避難階を始め、すぐ上の階から順にも防火戸などがきちんとさらさらの階へと進んだら、火災の直下の階に移り、さらに下の階へと確認していきます。自力で避難できるお客様には、避難経路を具体的に指示します。ハンドマシクを使えばより効果的に避難します。ハンドマシクを避け、煙が充満する恐れのないところを選ぶようにします。また、地上まで安全に到達できる施設を選択します。エレベーターは火災による停電で停止する恐れがあるため、使用しませ

が150施設に導入



が効率化

S-ICと東北大 水と健康で共同研究

謝に関する最先端の知的な進展と共に、健康増進に自然界から生体内に、進と豊かな生活につながる水に関する総合的な研究に取り組むとして、研究実績を活用し、学術一

商品・トレン